

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 29 年 7 月 19 日		
所属学部・研究科	文学部人文学科 中国文学語学研究科 学部/研究科	3 年次 (留学開始時点)		
留学先大学	南京大学 (国名: 中華人民共和国)			
所属学部・学科等名	海外教育学院			
在籍身分	進修生			
留学期間	平成 28 年 8 月 26 日 ~ 平成 29 年 7 月 10 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: X1			
	ビザ申請先: 中国大使館			
	取得方法, 提出書類: 代行業者 (感動大陸) に依頼。必要書類: パスポート・証明写真・入学許可証・JW202 表。費用は 1 万 2000 円ほど。			
	手続きに要した日数: 1 週間前後			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 28 年 8 月 26 日			
経路	関西空港—ソウル(友人宅, 29 日まで)—上海浦東国際空港			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	最初の一週間のどこかにあった。宿舎のあるキャンパスとは別の、メトロで 40 分から 50 分程度の距離にあるキャンパスで行われた。一年分の寮費の納入も兼ねていたように思われる。			
帰国年月日	平成 29 年 7 月 10 日			
経路	上海浦東国際空港—広島空港			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	95 万円	円	
	内訳	渡航費	10 万	円
		保険料	12 万	円
		教科書代(学費)	14 万 (広大半免)	円
		宿舍費	4 万 5000	円
		食費	30 万	円
		その他 ( 旅費)	20 万	円
( 雑費)	4 万 5000	円		
<b>3. 授業について</b>				
年 上学期	9 月 1 日 ~ 2 月 16 日			
年 下学期	4 月 15 日 ~ 6 月 18 日			
年 学期	月 日 ~ 月 日			
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	留学生向けの中国語講座は、初級・中級・高級の三級、更に各級が上中下の三級、計九つの等級に分かれており、学期初めのテストと本人の希望から割り振られる。HSK5 級を持っている学生は、希望すれば本科の講義も受講できる。			

単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること		
学術面に関する後輩へのアドバイス	留学生向け中国語講座は、ほとんどが午前中のみ開講されているので、本科の受講やサークルへの参加、市内散策などで有意義に時間を過ごしましょう。		
<b>4. 生活等について</b>			
(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )		
住居の広さ	約 20 m <sup>2</sup>	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有 ( )人 <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )		
住居費	1ヶ月当たり	300元(現地通貨)	約 4500 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
留学先での住居全般に関するアドバイス	飲料水は宿舎一階で熱水を買います。元三人部屋を個室として割り当てたため、寝具や机が各部屋に三組ずつあります。希望すれば同性の留学生と同居可能です。		
(2) 医療について			
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった		
入院した場合	により 日入院		
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった		
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
掛け金は	年間 12万円 補償額 死亡 1000万円, 入院1日 円 その他 ( )		
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名			
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:		
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	特に違いは感じなかった。		
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	生卵を食べないこと、水道水は飲まないこと		
(3) その他生活等に関して参考となる事項			
早めに銀行口座を開設して、支付宝 (アリペイ) をインストールしましょう。現在の中国では電子決済が普及しているため、現金のみでの生活はかなりの困難を伴うと思われます。旅行の際の切符はctripなどのアプリを通して購入し、身分証を持って駅の有人窓口まで取りに行きましょう。wechatで滴滴出行のアカウントをフォローしておく、アリペイ経由の明瞭決済でタクシーに乗ることができて便利です。Ofoやmobikeなどの乗り捨て型シェア自転車に登録しておく、キャンパス内や街での移動がぐっと便利になります。			
<b>5. 帰国後の進路について</b>			
卒業予定年月	平成 31年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 30年 3月)		

卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input checked="" type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他（具体的に _____ )	
現在の状況および今後の予定・進路等	奨学金で賄いきれなかった費用（20万円ほど）をクレジットカードで決済したため、その返済のためアルバイトをする必要があります。また同時に HSK6 級を受験し、中国語能力の精度を高めて就職活動に臨みます。進路先としては中国市場に参入している日本企業や、日本で活動している中国企業などを考えております。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫		
<b>6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等</b>		
書籍、サイト名	詳細（出版社、URL 等）	コメント
感動大陸	<a href="https://www.kando-tairiku.com/">https://www.kando-tairiku.com/</a>	ビザ取得代行
<b>7. 自由記述（後輩へのアドバイス等）</b>		
留学手続きは10月頃から動き出しますが、広島大学と提携校の間で国際郵便を通じて文書のやり取りをするため、一方の大学の書類提出締切が過ぎているのもう一方からその書類がまだ発送されていない、ということも起こりえます。早めに準備を進めましょう。また、広大の授業料減免申請を行う場合は、御両親等に頼んで代理申請してもらいましょう。広大は基本的に代理申請を認めていないため、予め支援室に相談する必要があります。		

## HUSA 学習報告

僕は2016年の8月下旬から一年間、南京大学に留学してきました。今回の留学の目的は実用的な中国語力を身につけることと、中国での生活を実際に体験することでしたが、ここでは前者について詳しく書いていきます。

まずはクラス分けについて説明します。9月の初旬に中国語の簡単な試験があり、本人の希望と試験の結果によって前期のクラスが決められました。クラスの等級は初級・中級・高級の3段階で、各級がそれぞれ上下2種類あり、これに最上級のクラスである「文化班」を加えた計7段階に分かれていました。学習深度が浅いものが「上」、深いものが「下」なので、初上班、初下班・高上班、高下班、文化班と等級が上がっていきます。初上班がピンインの発音や漢字の書き方から始まる一方で、文化班では国外の華僑や台湾・香港からの学生を対象とした本格的な詩作を行うなど、幅広いレベルのクラスが用意されていました。前期は高下班が開講されていなかったため、僕はひとまず高上班を受講し、後期開講にあわせて高下班に移動しました。

中国語の授業は口語・聴力・総合漢語の3種類あり、それぞれ特色のある講義が行われました。口語課では各授業ごとにテーマが与えられ、翌日までに各人がパワーポイントを作成して5分から15分程度のプレゼンテーションを行いました。聴力課では教科書はあまり使われず、先生との会話や映画の視聴が多かったです。総合課では教科書の音読や単語の並び替えなどの授業を行うとともに、教科書のテーマに沿って毎日A4用紙1枚ほどの作文課題が課されました。

上記3種の講義のうち、1日に1コマから3コマが午前8時から午後2時にかけて開講されていたため、課外活動に費やす余暇は充分にありました。中山陵や明孝陵、

靈谷寺などの南京市内にある史跡はもちろん、近郊都市である蘇州まで足を運び、庭園を散策することもありました。

後期は前期と比べて開講コマ数が減ったため、本科の授業も受講しました。都市部の発展による影響で人口流出が深刻な郊外の農村でのフィールドワークに参加するなど、中国社会の全体的把握に努めました。

この1年を通して、僕の中国語能力は目覚ましい成長を遂げました。渡航当初は空港職員の言葉が聞き取れず、フライトを逃してしまうほどでしたが、今ではオフシーズンにタクシーの運転手と交渉して車を出してもらったり、ドミトリーで出会った中国の方と一緒に市街地をまわられるほどに上達しました。この夏のうちにHSK6級を取得し、絶えず自身の向上に努めていこうと思います。

### HUSA プログラムへの感想

渡航時に15万円の奨励金をいただけたことは大変ありがたかったです。ただ、留学中の学生が授業料減免申請を行う際も他の学生と同じように事前予約や本人の出自が必要とされること、日中双方の大学間で留学に必要な書類を国際郵送しているにもかかわらず、それらの提出期限が早めに設定されているため留学申請開始直後に書類準備を始めても期限に間に合わないなど、制度的に改善すべきことは多いと思います。

## HUSA 生活報告

本稿では南京大学で過ごした一年間の生活面に関する報告をいたします。

ほとんど全ての学生が学内に居住しているため、南京大学の学内設備は非常に充実していました。図書館には日本語の蔵書も多かったため、勉強の合間に立ち寄って読書をすることも多かったです。

宿舎に自炊設備が無いため、食事は基本的に学内食堂かデリバリーで摂っていました。食堂は学内に11箇所あり、それぞれが非常に大きいのですが、営業時間が短く食事時には非常に混雑するため、大学前にあった「すき屋」で済ませることも多かったです。食費は学内食堂の場合一食10元(160円)程度、デリバリーは中華料理で20元から30元、和食や韓国料理で40元程度、ピザなども40元程度だったと思います。

もう一方の学習報告書でも述べたように、留学生向けの中国語講座は午前中に集中して開講されたため、課外活動に使う時間は十分にありました。そこで僕は孫文の陵墓である中山陵をはじめ、明孝陵や靈谷寺などの史跡や、抗日虐殺記念館、科挙博物館などの展示を見て回りました。僕が過ごした仙林キャンパスは市の中心部から電車で40分ほどの距離にありましたが、メトロの運賃が片道5元(75円程度)と非常に安く、またシェア自転車に乗れば1時間1元(15円)程度だったので、毎週平日に一度は市内へ遊びに行きました。

また、生活費は主にJASSOの1種2種併用奨学金に頼っていたのですが、長期の旅行に出かけたり広島大学の授業料を納付すると生活が苦しくなる月もあったため、週末には現地の日本人学校で有償ボランティアに参加しました。平日は現地のインターナショナルスクールに通う彼らと共に過ごし、ときにはTOTOをはじめとする日系企業へ社会科見学に行くなど、南京日本語補習校での活動は単に金銭的報酬のみならず、貴重な経験をも得ることができました。

長期休暇には寝台列車に乗って遠方へ旅行に行きました。ウイグル自治区や青海省、チベット自治区などは地理条件から民族構成に至るまで沿岸部とは全く異なっており、広大な中国大陸の多様性を実感しました。ウイグル自治区では僕が到着する数日前にテロがあったらしく、街では武装警察の戦車が巡邏しており、至る所で厳格な身体検査が行われるなど、非常に緊迫した空気が伝わってきました。またチベット自治区では漢民族の入植地とチベット族の居住区が完全に分断されていて、チベット族の人々は僕たちが外地人だとわかると中国語ではなく英語で接してくるなど、西方地域の民族問題の根強さが伺えました。

中国は非常に広大で多様な国家であるため、この国を正しく理解するにはまだまだ時間が足りません。今回の留学経験をもとに日中の交流促進事業に携わり、この国に対する理解をより一層深めていこうと思います。



宿舎の前。他の宿舎が並んでいる。



民国時代の首相官邸、美鈴宮（メイリンゴン）。



最寄りの商店。



中山陵から下を望む。



十一号食堂。エッグタルトが美味しい。



蘇州の古い町並み。



図書館から南門を望む。キャンパスがとにかく広いので、徒歩なら縦断に40分かかる。



同上。



蘇州は美しい庭園で有名だが、人の映っていない写真が少なかった。



万里の長城。(八達峻)



上海動物園の入り口。



火焰山(左)とベゼクリク千仏堂(右)。火焰山は西遊記にも登場する。



上海の夜景。



交河故城。かつては2本の巨大な河が交わる中州であり、そこに都が築かれた。



天安門広場から天安門を望む。



同上。



ウイグル族の伝統的な集落である吐峪沟(トゥユゴウ)から、集落外を望む。



同上。



同上。



真冬の天山天池。オフシーズンなのでバスが出ていなかったが、現地人のおじさんと交渉して車に乗せて行ってもらった。



青海省のチベット族の村。



同上。



デブン寺よりラサ市街を望む。標高4,000mを超えているためか、山頂が雲を突き抜けている。



同じくラサ市内、セラ寺。



同上。



同上。チベットの空はとにかく青い。